

平成 26 年度 蚕糸・昆虫機能利用学術講演会
— 日本蚕糸学会第 84 回大会 —

会 期：平成 26 年 3 月 10 日（月）～ 3 月 11 日（火）

開 催 場 所：日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市亀井野 1866）

講 演 会 場：日本大学生物資源科学部本館講義室（3 階・4 階）

総 会 会 場：日本大学生物資源科学部本館 4 階大講堂

懇親会会場：日本大学生物資源科学部食堂棟 3 階 NUBS ホール

大会参加費：（当日受付）正会員 6,000 円、学生会員 5,000 円、非会員 7,000 円

懇 親 会 費：（当日受付）正会員 7,000 円、学生会員 5,000 円、非会員 7,000 円

大会 日 程

第 1 日 目 3 月 10 日（月）

第 1 会場 (31 講義室)	第 2 会場 (32 講義室)	第 3 会場 (中講堂 1)	第 4 会場 (中講堂 2)
10:00～12:00 昆虫・蚕遺伝	10:00～12:00 昆虫・蚕利用	10:00～12:00 昆虫・蚕生理機能	10:00～12:00 昆虫・蚕病理
101～108	201～208	301～308	401～408

13:00～14:00 会員総会、日本蚕糸学会賞・日本蚕糸学会進歩賞授与式

14:15～15:45 日本蚕糸学会賞受賞記念講演・特別講演

16:00～17:30 公開シンポジウム

18:00～ 懇親会（日本大学生物資源科学部食堂棟 3 階 NUBS ホール）

第 2 日 目 3 月 11 日（火）

第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
10:00～12:00 昆虫・蚕遺伝	10:00～12:00 昆虫・蚕利用/ 植物・桑/生理機能/ 昆虫・蚕遺伝	10:00～12:00 昆虫・蚕生理機能	10:00～12:00 昆虫・蚕病理
109～116	209～216	309～316	409～416
13:15～15:45 昆虫・蚕遺伝	13:15～15:30 昆虫・蚕遺伝	13:15～16:00 昆虫・蚕生理機能	13:15～15:45 昆虫・蚕病理
117～125	217～224	317～326	417～425

平成 26 年度日本蚕糸学会賞受賞記念講演

3月10日(月) 14:15~15:15
日本大学生物資源科学部本館4階大講堂

カイコにおける特異的代謝機構に関する研究

独立行政法人農業生物資源研究所 平山 力 会員

核多角体病ウイルス感染チョウ目昆虫細胞における 抗ウイルス応答に関する研究

名古屋大学大学院生命農学研究科 池田素子 会員

平成 26 年度日本蚕糸学会特別講演

3月10日(月) 15:15~15:45
日本大学生物資源科学部本館4階大講堂

最近の蚕糸情勢と蚕品種の開発動向について

前・大日本蚕糸会蚕業技術研究所 井上 元 会員

公開シンポジウム

3月10日(月) 16:00~17:30
日本大学生物資源科学部本館4階大講堂

(1) 「Development of Highly Active Enzymes from Insect Microbes」

朴 鎬用 (Ho-Yong Park ; 韓国蚕糸学会 会長)

(2) 「新時代到来！遺伝子組換えカイコの産業利用」

遺伝子組換えカイコ産業利用ワーキンググループ 座長：鈴木雅京

1. 拡散防止措置を講じた遺伝子組換えカイコ飼育の実用化

桑原伸夫・池田真琴・清水健二・鹿沼敦子・伊藤 寛

(群馬県蚕糸技術センター)

2. 農家での遺伝子組換えカイコの飼育に向けた取り組み

河本夏雄 (独立行政法人農業生物資源研究所)

大会事務局からのお知らせ

大会案内 平成 26 年度蚕糸・昆虫機能利用学術講演会（第 84 回日本蚕糸学会大会）は平成 26 年 3 月 10 日（月）から 11 日（火）に神奈川県藤沢市の日本大学生物資源科学部で開催されます。開会式および総会、授賞式、受賞記念講演、特別講演、公開シンポジウムは本館 4 階大講堂で、一般講演は本館各講義室で行われます。また、公開シンポジウムとして、韓国蚕糸学会の朴鎬用会長をお招きしたシンポジウム「Development of Highly Active Enzymes from Insect Microbes」および日本蚕糸学会主催シンポジウム「新時代到来！遺伝子組換えカイコの産業利用」も開催いたします。日本大学生物資源科学部へのアクセス方法(P6)および会場見取り図(P7)をご覧ください。

大会期間中の連絡先 やむを得ぬ事情等で講演ができなくなったなど、緊急の問題が生じた場合には **090-4375-1589** までご連絡ください。期間中以外は連絡できませんのでご注意ください。大会期日より前のご連絡は下記の電子メール jsss84@brs.nihon-u.ac.jp までお願いいたします。

受付 大会当日の参加受付・懇親会申込は、日本大学生物資源科学部本館棟 3 階にて行います。当日参加される方は、受付にお越しくください。領収書の書式変更などは受付で行います。

シンポジウム 大会初日の 16:00~17:30 に、日本大学生物資源科学部大講堂にて、シンポジウム「Development of Highly Active Enzymes from Insect Microbes」および「新時代到来！遺伝子組換えカイコの産業利用」を開催します。

懇親会 大会初日の 18:00 より、日本大学生物資源科学部食堂棟 3 階 NUBS ホールにて行います。当日の懇親会受付は大会会場にて行います。

一般講演（口頭発表） 大会初日と 2 日目に行います。詳しくは「一般講演（口頭発表）におけるプレゼンテーションについて」（P5）をご覧ください。

会場内の連絡 電話の取り次ぎや呼び出しは一切行いません。会場内では、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定し、講演の妨げにならないよう十分にお気をつけください。

昼食 大会期間中、日本大学生物資源科学部のレストラン・喫茶を利用できます(P6)。レストランは学内に 2 ヶ所あり、食堂棟（544 名収容で、一般的な学生食堂です。お支払は現金でお願いします。）および本館地下(ガレリア階)のスエヒロ食堂（284 名収容可能で、GINZA スエヒロの食事を安価で楽しめます。プリペイドカード方式で、使用后精算可能です。）をご利用いただけます。また図書館棟 1 階に喫茶コーナーがあります。12 号館地下（ガレリア階）にはコンビニエンスストアおよびドトールコーヒーがあります。また 1 号館 1 階には売店(立野商店)があります。お好きなレストラン・喫茶をご利用ください。

休憩室 会場内に休憩室を設けていますのでご利用ください。お茶とコーヒーを用意しています。なお、神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例により校舎内はすべて禁煙です。喫煙場所はキャンパスマップおよび会場見取り図内に記載しておりますので、そちらをご利用ください。

修正用 PC パソコンを持参されない方のために修正用パソコンを準備しておきます（会場に設置してあるパソコンとは異なる機種です）。利用を希望される方は当日受付にお知らせ下さい。

インフルエンザ等対策 受付や休憩室などに除菌用のハンドスプレーを用意しますので、ご利用ください。インフルエンザにかかってしまった場合は無理をせず、講演の取り消し等の連絡を大会専用の携帯電話にお願いします。

博物館 日本大学生物資源科学部では、大会期間中常設展として「世界のアゲハチョウの展示」（3階）を行っております。無料で見学することができますので、お気軽にご覧ください。開館時間 10：00～16：00

駐車場 車での来校はご遠慮ください。入構許可証を持つ人以外は入構できません。

一般講演（口頭発表）におけるプレゼンテーションについて

講演方法：

- すべての講演は、液晶プロジェクターを用いた発表とします。講演者は各自でノート型コンピュータをご用意いただき、会場係の指示に従ってプロジェクターに接続してください。
- パソコンの接続コネクタは d-sub15 ピンです。HDMI, USB などのコネクタは接続できませんので、該当するパソコンをお持ちの場合には変換コネクタをご用意ください。
- コンピュータを持参できない方のために、講演会場に Microsoft PowerPoint がインストールされた Windows パソコンを用意します。講演用のファイルは、PowerPoint2010 (*.pptx) または pdf 形式で作成し、USB メモリーか CD-R に保存して各セッション開始前に会場の大会運営委員にお知らせください。
- 講演に会場のパソコンを使用する場合には、ファイルサイズはできるだけ小さくしてください。ファイルサイズがあまりに大きいと、コピーに時間がかかったり、動きが遅くなったりします。画像を含めて最大 3MB 程度におさめてください。ファイルサイズがこれを超える場合は、あらかじめ画像処理ソフト等で実際に使用する解像度に変換して使うか、PowerPoint のファイルの保存時に画像を圧縮してください。
- 動画の再生は保証いたしかねますので、ご了承ください。

試写：

トラブル発生をできるだけ防ぐため、当日の講演が開始される前に、必ず講演ファイルが正常に再生できるかどうかの確認をお願いいたします。各会場にプレゼン用 USB マウスを用意しておきますので、ご自身でポインターを持参されない場合には、あらかじめ操作の練習をしておいてください。

発表時間：

講演は 1 題につき 11 分（第 1 鈴 9 分、第 2 鈴 11 分、終鈴 14 分）を厳守してください。討論は 3 分です。各講演はプログラムに定められた時刻に開始します。講演取り消しや時間に余裕を生じた場合には、討論時間とし、繰り上げることはしません。講演者は次の講演の座長を行います（講演者座長制）。3 月 11 日午後最初の座長となる午前最後の講演者は、座長をお忘れにならないようにご留意ください。なお、両日ともに午前の最初の座長は大会運営委員会が指定します。

大会会場へのアクセスと会場配置図. 日本大学生物資源科学部



【新宿から】

小田急線にて、新宿→相模大野→(小田急江ノ島線)→六会日大前所要時間最短で56分。料金520円。

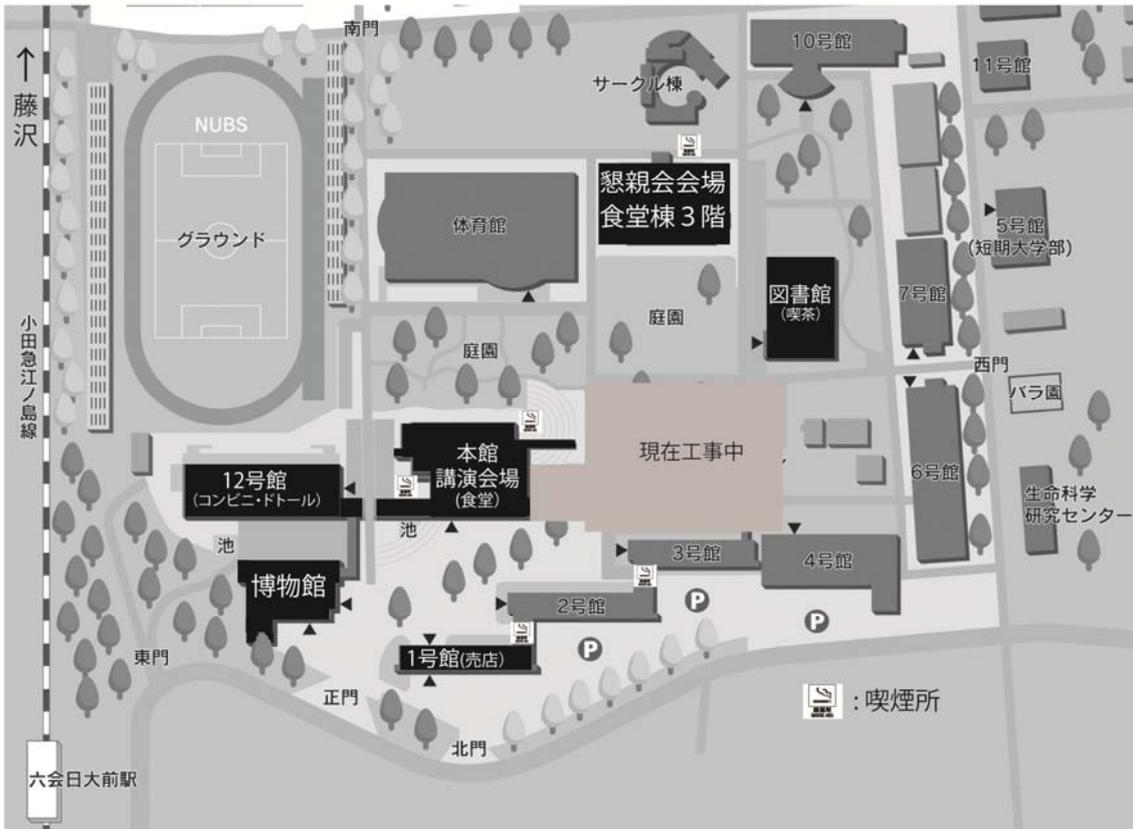
【横浜から】

1. JR東海道線にて横浜→藤沢。小田急江ノ島線に乗り換え、藤沢→六会日大前 所要時間44分。料金550円。

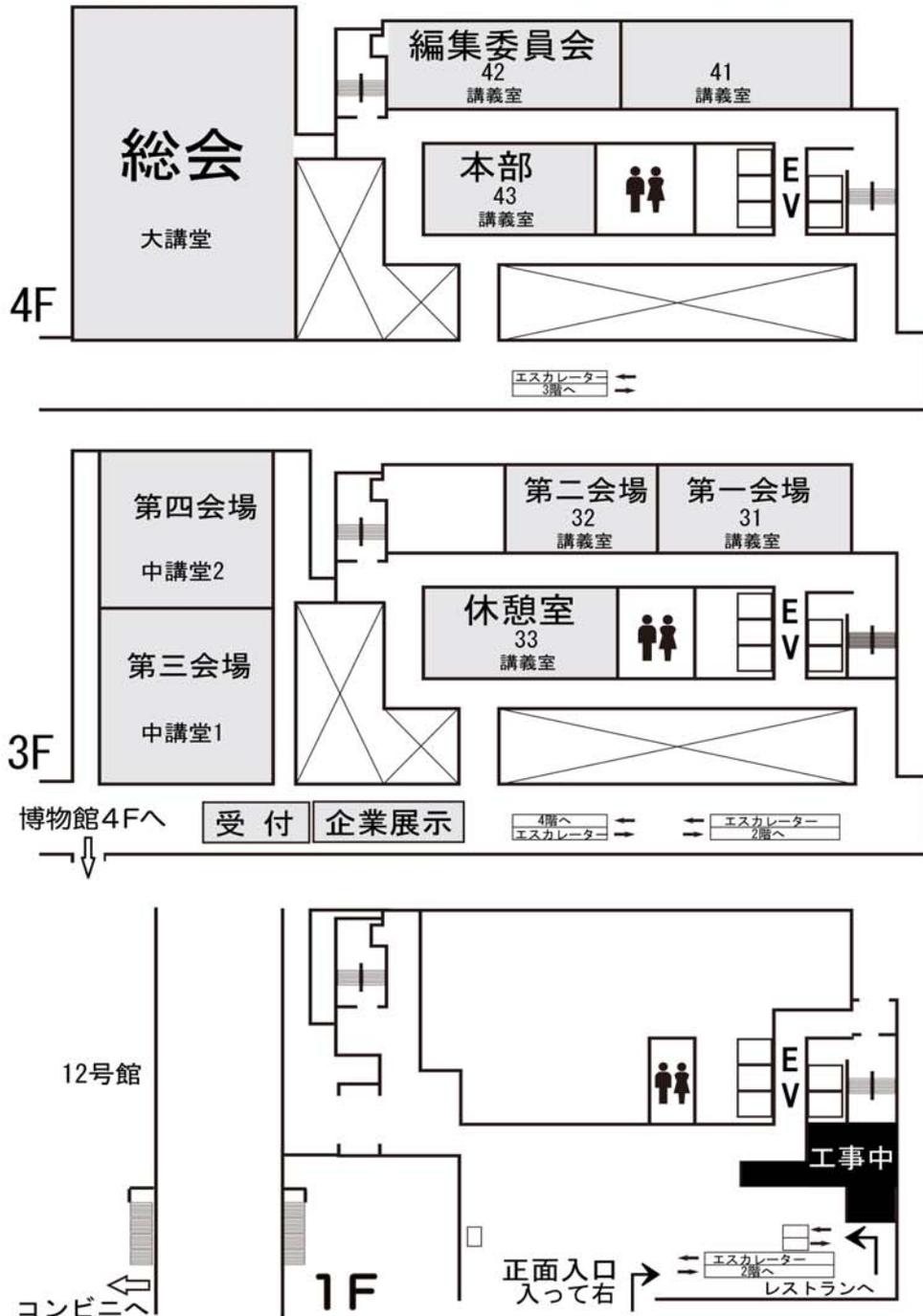
2. 相模鉄道線 (相鉄線) にて、横浜→大和。小田急江ノ島線に乗り換え、大和→六会日大前 所要時間48分。料金460円。

【東京から】

1. JR東海道線にて、東京→藤沢。小田急江ノ島線にて、藤沢→六会日大前 所要時間1時間11分。料金1100円。



会場見取り図



- ・受付は3階にあります。各会場へはエスカレーターやエレベーター・階段をご利用ください。
 - ・休憩室は3階(33講義室)にあります。
 - ・企業展示は3階(受付横)にあります。本館には地下1階(ガレリア階)に食堂(スエヒロ)があります。
 - ・ガレリア階へはエスカレーター、エレベーターの両方をご利用いただけます。
 - ・本館付近の喫煙所はガレリア階の本館-12号館の連絡通路付近、および本館ガレリア階エレベーターホール外にあります (P6参照)。
- ※本館地下はガレリア階になります。

一般講演プログラム

第1日目 3月10日(月) 午前の部

第1会場(31講義室)

- 10:00 101 カイコの性決定・性分化におけるpiRNAカスケードの関与
○勝間 進・木内隆史・古賀 光・川本宗孝・庄司佳祐・嶋田 透(東大院農)
- 10:15 102 W染色体由来の雌特異的piRNAがカイコの性を決定する
○古賀 光¹⁾・木内隆史¹⁾・川本宗孝¹⁾・庄司佳祐¹⁾・新井祐二¹⁾・河岡慎平¹⁾・菅野純夫²⁾・鈴木 穰²⁾・嶋田 透¹⁾・勝間 進¹⁾(1東大農、2東大新領域)
- 10:30 103 Fem piRNAのターゲット分子の同定とカイコ性決定カスケードへの関与
○木内隆史・古賀 光・川本宗孝・庄司佳祐・嶋田 透・勝間 進(東大院農)
- 10:45 104 RNA-seq解析によるカイコ初期胚で発現に雌雄差を示す遺伝子群の網羅的同定
○川本宗孝¹⁾・古賀 光¹⁾・木内隆史¹⁾・庄司佳祐¹⁾・菅野純夫²⁾・嶋田 透¹⁾・鈴木 穰²⁾・勝間 進¹⁾(1東大院農、2東大院新領域)
- 11:00 105 エリサン初期胚雌雄鑑別法の確立と、エリサンの性決定機構に関する考察
○李 允求・木内隆史・嶋田 透・勝間 進(東大農)
- 11:15 106 BmHP1aは高発現な遺伝子の転写開始点近傍に結合し、それらの遺伝子発現を正に制御する
○庄司佳祐¹⁾・原 加保里¹⁾・川本宗孝¹⁾・河岡慎平¹⁾・菅野純夫²⁾・木内隆史¹⁾・嶋田 透¹⁾・鈴木 穰²⁾・勝間 進¹⁾(1東大院農、2東大院新領域)
- 11:30 107 CRISPR-Casシステムを用いたゲノム編集によるカイコIMPホモログ(IMP)の機能解析
○坂口穂菜美・酒井弘貴・青木不学・鈴木雅京(東大・新領域)
- 11:45 108 TALENを用いたβ-フルクトフラノシダーゼ遺伝子ノックアウトカイコの作出
○平松佑介¹⁾・木内隆史¹⁾・大門高明²⁾・勝間進¹⁾・嶋田 透¹⁾(1東大農、2生物研)

第2会場(32講義室)

- 201 低温下における蜂群の温度調節
○山舖直子・渡邊雅美(酪農大・発生生物)
- 202 遺伝子組換えカイコの系統保存システムの構築
○内野恵郎¹⁾・飯塚哲也¹⁾・持田裕司²⁾・竹村洋子²⁾・瀬筒秀樹¹⁾(1生物研、2蚕技研)
- 203 アンチセンス鎖RNAを用いたセリシン1、フィブロインH鎖の発現抑制
○立松謙一郎・早川 舞・内野恵郎・小島 桂・瀬筒秀樹(生物研)
- 204 ゲノム編集技術を用いたカイコ培養細胞のN型糖鎖修飾特性改変に関する研究
○今井嘉彦・河野通生・小林 淳(山口大農)
- 205 平衡致死系統と限性黒卵系統を用いた新しい中細織度雄蚕品種の作出
○大沼昭夫・竹村洋子・持田裕司・松本正江(蚕技研)
- 206 DAH系IGR剤に対するカイコの感受性とその品種間差異
○野澤瑞佳・代田丈志(蚕技研)
- 207 蚕の教材開発(飼育、繰糸、織物、繭クラフト)実証
○宮沢福寿(群馬県前橋市)
- 208 キャッサバ葉によるエリ蚕飼育と繭綿の活用
○安田勝年¹⁾・梶浦善太²⁾・斉藤 進³⁾・川本康博⁴⁾・長島孝行⁵⁾(1元岐阜生物産研、2信州大学、3京都工繊大、4琉球大、5東京農大)

13:00 会員総会・受賞記念講演・公開シンポジウム(於:日本大学生物資源科学部大講堂)

18:00 懇親会(於:日本大学生物資源科学部NUBSホール)

第3会場(中講堂1)

- 10:00 301 カイコ成虫におけるallatotropinによるJH合成抑制作用とその機構
○金児 雄・比留間 潔(弘前大・農学生命)
- 10:15 302 栄養シグナルと蛹変態を誘導するタイマー
○比留間 潔¹⁾・鈴木裕一郎²⁾・小山貴司³⁾・Riddiford, L.M.⁴⁾・Truman, J.W.⁴⁾(1弘前大・農生、2Wellesley College, 3Inst. Gulbenkian de Ciencia, 4Howard Hughes Medical Institute)
- 10:30 303 5齢期の翅原基の異なる細胞増殖期におけるMycの関わりについて
○川崎秀樹¹⁾・森山 実^{1),2)}・長内幸司¹⁾・岩永将司¹⁾(1宇大農、2産総研)
- 10:45 304 カイコ蛹期における頭胸部組織の名称記載の再考
○福森寿善¹⁾・山本幸治²⁾・麻生陽一²⁾・伴野 豊²⁾(1九大院生資環、2九大院農)
- 11:00 305 カイコ蛹期におけるエクジステロイドの変動及び生合成・代謝酵素の解析
○荻原麻理・引場樹里・齋藤一樹・片岡宏誌(東大新領域)
- 11:15 306 カイコエクジソン受容体*BmEcRB1*のエクジソン応答配列E2の機能解析
○永山春菜¹⁾・山口淳一¹⁾・大門高明²⁾・藤原晴彦¹⁾(1東大新領域、2生物研)
- 11:30 307 カイコBroad-Complex遺伝子のエクダイソン応答配列探索
○西田義憲(北海道大学 大学院理学研究院)
- 11:45 308 重イオン照射によるカイコ発生初期卵の発生遅延(予報)
○上田大介¹⁾・舟山知夫²⁾・横田裕一郎²⁾・坂下哲也²⁾・小林泰彦²⁾・白井孝治¹⁾(1信州大織、2原研高崎)

第4会場(中講堂2)

- 401 AcMNPV IE遺伝子発現のロバストネスを支えるIE遺伝子ネットワークと補償的相互作用
小野慎子¹⁾・高ひとみ¹⁾・○佐藤昌直²⁾・浅野眞一郎¹⁾・伴戸久徳¹⁾(1北大院農、2基生研)
- 402 Cry2Aの殺虫活性について
高野恵美子・高橋 珧・○浅野眞一郎・伴戸久徳(北大院農)
- 403 Cry毒素殺虫活性発現におけるカドヘリン様受容体の重要性の検討
○新川直雄規・山口雅人・佐藤令一(農工大院BASE)
- 404 Cry毒素殺虫作用機構上で協調作用を示す2つの受容体の性状解析
○田中詩穂¹⁾・宮本和久²⁾・野田博明²⁾・菊田真悟¹⁾・佐藤令一³⁾(1農工大院 BASE、2生物資源研、3農工大 BASE)
- 405 カイコ系統のBt毒素6種類に対する感受性調査
○宮本和久¹⁾・Mohammad S. Polan²⁾・遠藤 悠⁴⁾・和田早苗¹⁾・浅野眞一郎³⁾・蛭木 理²⁾・佐藤令一⁴⁾(1生物研、2農工大農、3北大院農、4農工大院BASE)
- 406 Bt菌が産生する殺蚊トキシンCry4Aaの複雑な作用機構について
○早川 徹・Mohammad Tofazzal Hossain Howlader・中尾早織・井出 徹(岡山大・院・自然科学)
- 407 全ゲノムの簡易的比較による*Bacillus thuringiensis*の系統的解析
○榎本和代・畠山吉則・小田尚幸・山本裕一・志賀野倫明・岩野秀俊(日大生物資源応昆研)
- 408 新規検索法による*Bacillus thuringiensis*の検索と分離株の性状解析
○山本裕一・畠山吉則・宮崎雅浩・榎本和代・岩野秀俊(日大生物資源応昆研)

13:00 会員総会・受賞記念講演・公開シンポジウム(於:日本大学生物資源科学部大講堂)

18:00 懇親会(於:日本大学生物資源科学部NUBSホール)

第2日目 3月11日(火) 午前の部

第1会場(31講義室)

- 10:00 109 カイコ緑繭系統大造のP5CR遺伝子の構造と発現異常
○間瀬啓介¹・外川 徹¹・澤田博司¹・平山 力²・岡田英二²・山本公子²
(1日大・文理、2生物研)
- 10:15 110 クワコとカイコの雑種における蛹期間調節機構の遺伝学的解析
○竹田津桜¹・河端洋二¹・谷村圭太¹・門野敬子²・小林 淳¹(1山口大農、2生物研)
- 10:30 111 Hermansky-Pudlak syndrome (HPS) 関連遺伝子ホモログをカイコでノックダウンすると油蚕形質が現れる
○中島奈月・木内隆史・勝間 進・嶋田 透(東大農)
- 10:45 112 *in vivo* リポフェクションによる様々な昆虫への外来遺伝子発現
○神村 学・小林 功・瀬筒秀樹(生物研)
- 11:00 113 絹糸腺においてLIM-homeodomain因子Awhは*fibroin-H*遺伝子発現を活性化する
○木本 舞¹・坪田拓也²・内野恵郎²・瀬筒秀樹²・滝谷重治³(1北大・生命科学院、2生物研、3北大・理学研究院)
- 11:15 114 カイコの強力なプロモーターの同定
○坪田拓也¹・内野恵郎¹・鈴木誉保¹・田中博光²・粥川琢巳³・篠田徹郎³・瀬筒秀樹¹
(1生物研・組換えカイコ、2生物研・昆虫機能、3生物研・成長制御)
- 11:30 115 *Drosophila* 属非モデル種におけるCRISPR/Cas9 システムを用いたゲノム編集
○田中良弥・鳥羽岳太・山元大輔(東北大生命)
- 11:45 116 かすり遺伝子(*q*)のポジショナルクローニング
○湯浅正志・木内隆史・勝間 進・嶋田 透(東大農)

第2会場(32講義室)

- 209 高分子量シルクフィブロイン水溶液の安定化と経皮吸収促進機能を有する化粧品の開発
○亀田恒徳¹・伊藤敏史²・辻 行貴²・外岡憲明²(1生物研、2アイビー化粧品)
- 210 シルク結合ペプチドを用いた非共有結合的タンパク質固定化の試み
炭谷めぐみ・藤井-村松理香・朝岡 愛・皆葉正臣・渡辺裕文・中島健一・飯塚哲也・立松謙一郎・瀬筒秀樹・○石橋 純(生物研)
- 211 シルクに非天然アミノ酸を導入できる遺伝子組換えカイコの作出
○寺本英敏・小島 桂・中島健一(生物研)
- 212 クモ牽引糸の引張り物性比較
○桑名芳彦・小島桂(生物研)
- 213 クワとイチジクの乳管細胞に蓄積するmRNAとタンパク質群の器官間比較
○日比野進¹・瀧 智早¹・矢野晴菜¹・廣岡青央²・山本佳宏²・北島佐紀人¹
(1京都市工繊大、2京都市産技研)
- 214 シロオビアゲハにおけるベイツ型擬態の責任領域の同定
○飯島沢郎¹・山口淳一¹・西川英輝¹・安藤俊哉¹・堀 寛²・梶谷 嶺³・伊藤武彦³・鈴木 稔¹・菅野純夫¹・藤山秋佐夫¹・豊田 敦¹・平川秀樹³・小杉 俊一³・藤原晴彦¹(1東大院新領域、2名古屋大、3東京工大、4遺伝研、5かずさDNA研)
- 215 前胸腺刺激ホルモン遺伝子ノックアウトカイコの作出
○内堀美和・大門高明・瀬筒秀樹・篠田徹郎(生物研)
- 216 ノックアウトカイコを用いたJHシグナリングの解析
○大門高明・中尾 肇・内堀美和・瀬筒秀樹・篠田徹郎(生物研)

第3会場(中講堂1)

- 10:00 309 カイコ絹糸腺分解におけるマクロオートファジーとシャペロン介在オートファジーの関与
○司馬 肇・藪 健史・間野伸宏・新井直人・中西照幸(日大生物資源)
- 10:15 310 高湿度条件下での営繭異常と上簇時期の関係
○渡辺和成・横山 岳・蜷木 理(農工大農)
- 10:30 311 絹糸昆虫の繭糸特性の比較(2)
○赤井 弘¹⁾・市川真理恵¹⁾・亀田恒徳²⁾・長島孝行¹⁾(1東農大、2農生研)
- 10:45 312 カイコガオス生殖腺分泌物に存在するアルドラーゼアイソザイム
○長岡純治・谷 奈緒(京工繊大院・応用生物)
- 11:00 313 カイコにおけるATP/ADP輸送蛋白質(Ant)遺伝子のクローニングと機能解析
○菅原亮平¹⁾・上樂明也¹⁾・篠原康雄²⁾・三芳秀人³⁾・塩月孝博¹⁾(1生物研、2徳大、3京大)
- 11:15 314 カイコ動原体を構成するタンパク質の解析
○門 宏明・李 在萬・日下部宜宏(九大院農)
- 11:30 315 カイコ脳におけ低分子量GTP結合蛋白質(Rab)の免疫組織学的解析
○古谷昌之¹⁾・坂元一樹¹⁾・山形裕士¹⁾・金丸 研吾¹⁾・竹田真木夫¹⁾・溝口 明²⁾・宇野知秀¹⁾(1神大農、2名大理)
- 11:45 316 カイコ・プロスタグランジンE合成酵素のX線立体構造解析
○山本幸治・MD. Tofazzal Hossain(九大院農)

第4会場(中講堂2)

- 409 国内2地点のヤガより分離された微胞子虫株のカイコに対する病原性
○志賀野倫明¹⁾・宮崎雅浩¹⁾・山家由貴¹⁾・大林隆司²⁾・畠山吉則¹⁾・岩野秀俊¹⁾(1日大生物資源応昆研、2小笠原亜熱帯農セ)
- 410 カイコ感染性が異なる*Nosema bombycis*二系統間における発現遺伝子差異の検出
○金子衣菜美・畠山吉則・高田萌絵・石井麻美・岩野秀俊(日大生物資源応昆研)
- 411 野外産チョウ目害虫における微胞子虫感染の年次変動と分離株の特性
○宮崎雅浩・畠山吉則・松野恭兵・山家由貴・岩野秀俊(日大生物資源応昆研)
- 412 *In vivo*スクリーニングによる*Serratia liquefaciens*のカイコに対する病原力因子の探索
○平 詠里加¹⁾・大埜勝寛²⁾・飯山和弘³⁾・青木智佐³⁾・李 在萬³⁾・日下部宜宏³⁾(1九大農、2九大院生資環、3九大院農)
- 413 BmNPVにおける新たな徘徊行動関連遺伝子*arif-1*の発見と機能解析
○國生龍平・川本宗孝・嶋田 透・勝間 進(東大院農)
- 414 バキュロウイルスにおける機能性長鎖非コードRNAの解析
○石原玄基・嶋田 透・勝間 進(東大院農)
- 415 非必須遺伝子の複数ノックアウトがBmNPV増殖に与える影響について
○高 ひとみ¹⁾・小野慎子¹⁾・佐藤昌直²⁾・浅野眞一郎¹⁾・伴戸久徳¹⁾(1北大院農、2基生研)
- 416 *Autographa californica*核多角体病ウイルスP143のRNA分解誘導に関わる領域の探索
○浜島りな¹⁾・永峰俊弘²⁾・川崎 祐²⁾・松本正吾²⁾・長田裕之²⁾・小林迪弘¹⁾・池田素子¹⁾(1名大院生命農・2理研)

12:00

第2日目 3月11日(火) 午後の部

第1会場(31講義室)

- 13:15 117 尿酸を合成できない尾崎油 (*og^z*)のモザイク解析
○藤井 告¹⁾・阿部広明²⁾・嶋田 透³⁾・伴野豊¹⁾(1九大院農、2農工大農、3東大院農)
- 13:30 118 カイコ突然変異体*t*-斑油 (*otm*)の原因遺伝子の同定
○張 昊堃¹⁾・木内隆史¹⁾・王 凌燕¹⁾・川本宗孝¹⁾・鈴木 穰²⁾・菅野純夫²⁾・勝間 進¹⁾・嶋田 透¹⁾(1東大院農、2東大院新領域)
- 13:45 119 カイコ突然変異体*ms*、*L*と野外昆虫のスポット紋様形成の類似性について
○山口淳一・上村 望・藤原晴彦(東大新領域)
- 14:00 120 カイコ卵色変異体の解析と遺伝子組換えマーカーへの応用
○二橋美瑞子・富田秀一郎・立松謙一郎・内野恵朗・田村俊樹・瀬筒秀樹(生物研)
- 14:15 121 クワコツマグロのポジショナルクローニング
○伊藤克彦¹⁾・桑崎誠剛²⁾・上樂明也²⁾・山本 公子²⁾・門野敬子²⁾・勝間 進³⁾・嶋田 透³⁾・天竺桂弘子¹⁾・横山 岳¹⁾・蜷木 理¹⁾(1農工大院農、2生物研、3東大院農)
- 14:30

第2会場(32講義室)

- 217 不完全変態昆虫、無変態昆虫、甲殻類における*doublesex* 遺伝子のクローニングの試み
○小西勇輔¹⁾・石黒真以¹⁾・渡辺崇人²⁾・三戸太郎²⁾・鈴木智也³⁾・東城幸治³⁾・柳沼利信¹⁾・新美輝幸¹⁾(1名大院生命農、2徳島大院STS研究部、3信州大理)
- 218 *de novo*トランスクリプトーム解析によって同定されたW染色体特異的遺伝子
○酒井弘貴・坂口穂菜美・青木不学・鈴木雅京(東大・新領域)
- 219 カイコ染色体突然変異系統の細胞遺伝学的解析
○鈴木一生¹⁾・安河内祐二²⁾・伴野 豊³⁾・佐原 健⁴⁾(1岩大院農、2生物研、3九大院農、4岩大農)
- 220 2n=55のカイコ個体
○佐原 健¹⁾・鈴木 宙¹⁾・石井啓祐²⁾・山田恭裕³⁾・安河内祐二⁴⁾(1岩大農、2北大農、3北大生物圏セ、4生物研ゲノム)
- 221 日本に生息するクワコの遺伝的分化
○行弘研司¹⁾・岩田和也¹⁾・河本夏雄¹⁾・富田秀一郎¹⁾・伊藤雅信²⁾・木内 信¹⁾(1生物研、2京都工繊大)

休 憩

第3会場(中講堂1)

- 13:15 317 シュウ酸カルシウム針状結晶とプロテアーゼの相乗的耐虫効果
○今野浩太郎・中村匡利(生物研)
- 13:30 318 カイコの摂食行動調節ペプチドGSRVYアミドの受容体の同定と解析
○永田晋治(東大院・新領域・先端生命)
- 13:45 319 カイコマルターゼの糖類似アルカロイドに対する抵抗性
○山野 峻¹⁾・木内隆史¹⁾・王 華兵¹⁾・大門高明²⁾・勝間 進¹⁾・嶋田 透¹⁾
(1.東大農、2.生物研)
- 14:00 320 カイコの漿膜形成と着色の分子機構の解明にむけて
○木原昌平・岡 圭庫・新美輝幸・柳沼利信(名大院生命農)
- 14:15 321 カイコの卵形成期に出現する2つの水選択的アクアポリンの動態
○丸山麻理弥・神原広平・東 政明(鳥取大院連農)

第4会場(中講堂2)

- 417 核多角体病ウイルス感染カイコ細胞における*Bmp53*, *BmSirt2*の機能解析
○富崎 萌・浜島りな・岩本麻子・小林迪弘・池田素子(名大院生命農)
- 418 バキュロウイルス核酸結合タンパク質による転写産物調節の解析
○小谷英治¹⁾・武藤清佳²⁾・森 肇¹⁾
(1京工繊大院、2国立循環器病センター)
- 419 カイコ核多角体病ウイルス(BmNPV)とAcMNPVの分岐(ウイルス種分化)に関する進化的考察
○永峰俊弘¹⁾・浜島りな²⁾・川崎 祐¹⁾・松本正吾¹⁾・長田裕之¹⁾・今西重雄³⁾・岩永将司⁴⁾・小林迪弘²⁾・池田素子²⁾(1理研、2名大院生命農、3生物研、4宇大農)
- 420 BmMLVのサブゲノミックプロモーターの同定、及び遺伝子解析
○津久井啓多¹⁾・内山航大¹⁾・山口裕太¹⁾・勝間 進²⁾・今西重雄³⁾・川崎秀樹¹⁾・岩永将司¹⁾
(1宇大農、2東大院農、3生物研・ジーンバンク)
- 421 温度、UV、pHによるBmMLVの不活化法の研究
○内山航大¹⁾・勝間 進²⁾・今西重雄³⁾・川崎秀樹¹⁾・岩永将司¹⁾(1宇大・農、2東大・院農、3生物研・ジーンバンク)

休 憩

第1会場(31講義室)

- 14:45 122 Gene analysis of incomplete dominant resistance against Bt insecticide, Cry1Ac in the silkworm, *Bombyx mori*
○Mohammad Sahin Polan, Katsuhiko Ito, Takeshi Yokoyama and Osamu Ninagi (農工大農)
- 15:00 123 カイコ系統間におけるハウスキーピング遺伝子の比較
○岩松琢磨^{1,2)}・伊藤克彦¹⁾・天竺桂弘子¹⁾・横山岳¹⁾・蜷木理¹⁾・村上聡³⁾・高橋理³⁾・石倉隆³⁾・花岡秀樹³⁾(1農工大院農、2東大院工、3ライフテクノロジーズジャパン株)
- 15:15 124 次世代DNAシーケンサを用いたカイコゲノムの解析
○村上聡¹⁾・高橋理¹⁾・小野崎登喜郎¹⁾・花岡秀樹¹⁾・岩松琢磨²⁾・伊藤克彦²⁾・天竺桂弘子²⁾・蜷木理²⁾(1ライフテクノロジーズジャパン株・2農工大農)
- 15:30 125 機能アノテーションパイプラインによるカイコの遺伝子発現解析
○天竺桂弘子¹⁾・伊藤克彦¹⁾・坊農秀雅²⁾・横山岳¹⁾・蜷木理¹⁾・普後一¹⁾(1農工大農、2ライフサイエンス統合データベースセンター)
- 15:45
- 16:00

第2会場(32講義室)

- 222 次世代シーケンサーを用いたアワノメイガ属3種の性フェロモン受容体遺伝子クラスターの構造解明
○安河内祐二¹⁾・上樂明也¹⁾・松尾隆嗣²⁾・石川幸男²⁾(1生物研、2東大・農)
- 223 無翅昆虫マダラシミにおける*vestigial*および*scalloped*の定量リアルタイムPCR法による発現解析
○富田智恵理・大出高弘・柳沼利信・新美輝幸(名大院生命農)
- 224 Role of silkworm RISC components in the basal defense against *Bombyx mori* nucleopolyhedrovirus (BmNPV)
○祝力¹⁾・徐劍²⁾・李志清¹⁾・門宏明¹⁾・李在萬¹⁾・日下部宜宏¹⁾(1九大農、2九大農生資環)

第3会場(中講堂1)

14:45	322	ドウガネブイブイ幼虫のアクアポリンのクローニングと昆虫アクアポリンファミリーの中での特徴付け ○東 政明・丸山麻理弥(鳥取大院・連農)
15:00	323	亜社会性を有する食材性ゴキブリの栄養共生系の差異とセルロース分解代謝物組成に及ぼす影響 金城幸宏 ¹⁾ ・坪井裕理 ²⁾ ・菊地 淳 ^{2),3),4)} ・○徳田 岳 ¹⁾ (1琉球大・熱生研、2理研・環境資源、3横市院・生命医、4名大院・生命農)
15:15	324	トコジラミにおけるRNA干渉法を用いた遺伝子機能解析 ○細川貴弘 ¹⁾ ・森山 実 ²⁾ ・深津武馬 ²⁾ (1琉大・熱生研、2産総研)
15:30	325	カメノコtentウの休眠覚醒に伴うタンパク質の経時的な変化 ○平田隼也・大場裕一・柳沼利信・新美輝幸(名大院生命農)
15:45	326	ヒゲナガカワトビケラ (<i>Stenopsyche marmorata</i>) 幼虫シルクネットのタンパク質局在様式について ○大川浩作 ¹⁾ ・八須匡和 ²⁾ ・野村隆臣 ³⁾ ・新井亮一 ³⁾ ・平林公男 ³⁾ ・塚田益裕 ³⁾ ・阿部康次 ⁴⁾ (1信州大・繊維・高分子研、2産総研・北海道セ、3信州大・繊維・応用生物、4信州大・繊維・化学材料)
16:00		

第4会場(中講堂2)

422	ヤマムギ科野蚕核多角体病ウイルスにおける遺伝子欠損変異と病徴解析 ○佐々木邦 ¹⁾ ・黄元姣 ²⁾ ・石美宁 ³⁾ ・王学英 ⁴⁾ ・梶浦善太 ⁵⁾ ・小林 淳 ¹⁾ (山口大農、2広西医科大、3広西蚕業科学研、4瀋陽農大、5信大織)
423	ハスモンヨトウ核多角体病ウイルス製剤のダイズ葉面生残量について ○神谷克巳・荒井輝博・河村 敏(岐阜農技センター)
424	トビイロウンカ (<i>Nilaparvata lugens</i>) から新たにみつかった2種のイフラウイルスについて ○村上理都子・末次克行・中島信彦(生物研)
425	ゲノムプロファイリング法を用いた昆虫病原性微生物における網羅的な系統関係の再構築 ○小田尚幸・畠山吉則・志賀野倫明・山本裕一・榎本和代・岩野秀俊(日大生物資源応昆研)